

平成 27 年度特別調査（ヒアリング）の実施について（案）

1. 概要

- 平成 26 年 12 月 3 日中医協基本問題小委員会において、委員より指摘を受けた点に関して、DPC 評価分科会において平成 27 年 1 月 26 日、3 月 23 日に再度議論を行った。

中医協指摘事項

- ・ 全ての病院種別について「治癒」が減少していることに着目し議論すべきではないか。
- ・ 「予期せぬ再入院」が経年的に増加傾向にあることに関して議論すべきではないか。

- 挙げた意見を元に、更なる DPC データの分析を行い議論を行ったところ以下の点が明らかになった。

「治癒」の割合について

- ・ 「治癒」の割合は医療機関ごとに大きく異なる。
- ・ 同一の医療機関であっても、「治癒」の割合が調査年度ごとに大きく異なる場合がある。

「予期せぬ再入院」の割合について

- ・ 「予期せぬ再入院」の割合が医療機関ごとに異なる。
- ・ 「予期せぬ再入院」の割合が経年的に上昇している
- ・ 「再入院」の中で「分類不能コード」が「予期せぬ再入院」割合の上昇の一因であったが、内容が不明確である。

- 各事項に関して、これ以上の原因の把握は DPC データからは不可能であったため、特別調査（ヒアリング）を行うこととしてはどうか。

2. 調査の目的について

- (1) 「治癒」の割合について以下の理由を明らかにする。
 - ・ 医療機関ごとに「治癒」の割合が大きく異なっている理由。
 - ・ 同一の医療機関が調査年度によって「治癒」の割合が大きく異なる理由。
- (2) 「予期せぬ再入院」の割合について以下の理由を明らかにする。
 - ・ 医療機関ごとに「予期せぬ再入院」の割合が異なっている理由。
 - ・ 「予期せぬ再入院」の割合が上昇した理由。
 - ・ 「再入院」の理由として「分類不能コード」が多い理由。

3. 調査対象医療機関の選定について

- 全国の DPC 対象病院及び DPC 準備病院を対象とする。
- 平成 25 年度の DPC データを集計し、調査の目的を達成するために、必要な医療機関に対し、調査票を配布する。
- ヒアリング対象となる医療機関については、調査票を取りまとめた結果等を踏まえて、数医療機関を当該分科会に招集する。